

2019年度（公財）東京都体育協会 事業報告

I 競技スポーツの強化と推進に関する事業

区分	事業名	内容説明
1 競技力向上事業	(1) 国体候補選手強化事業 ＜定款第4条第1項-5号＞	<p>◆対象人員や競技成績等に応じて各競技団体に強化費を交付し、選手強化事業を実施</p> <p>◇対象競技:国体正式競技(本大会・冬季大会計41競技) ◇対象期間:4月～12月(冬季競技は大会直前)まで ◇強化実績:延べ2,273日間、443事業、 本大会・関プロ大会の東京都代表選手・監督等2,221名を強化 男女総合成績第2位、女子総合成績第2位 競技別総合優勝6競技 (水泳、バレーボール、レスリング、ソフトテニス、柔道、トライアスロン)</p>
	(2) ジュニア特別強化事業 ＜定款第4条第1項-3号、6号＞	<p>◆次代を担う有望なジュニア選手(小中高校生)を対象に、オリンピック競技とそれ以外の競技の2区分で、各団体に強化費を交付し、強化事業を実施</p> <p>◇対象競技:国体正式競技(本大会・冬季大会計41競技) ◇対象期間:年間 ◇強化実績:延べ1,030日間、282事業、 選手・監督等4,637名を強化</p>
	(3) 国体選手健康調査チェック等事業 ＜定款第4条第1項2号、7号、9号＞	<p>◆スポーツ医・科学委員会を中心とする公認スポーツドクターが、健康状態(既往症、持病、コンディション、自覚症状等)のチェック及びアンチ・ドーピングに関する指導・啓発を実施 また、スポーツファーマシストによるうっかりドーピング防止(薬の服用による)の講習を実施</p> <p>◇対象競技:国体正式競技(本大会・冬季大会計41競技) ◇対象期間:年間 ◇場所:各競技団体指定会場 ◇事業実績:国体候補選手を含め、1,305名を健康調査 スポーツ医・科学委員会 令和2年3月3日(火)※書面表決 アンチ・ドーピング研修 令和元年8月29日(木) 競技力向上研修 令和元年8月29日(木) 令和元年9月21日(土) 令和元年12月11日(水)(令和2年3月17日(火)※中止) 参加者330名</p>
	(4) オリンピック候補選手強化事業(日本代表選考会出場選手強化事業) ＜定款第4条第1項-3号＞	<p>◆日本選手権大会等の全国大会、世界選手権等の世界大会や、オリンピックへの出場が見込まれる東京都選手及びその指導者の強化活動を支援する。</p> <p>◇対象競技:東京都体育協会加盟のオリンピック競技(34競技) ◇対象期間:年間 ◇強化実績:延べ200事業、608名を強化</p>
	(5) ジュニア育成地域推進事業 ＜定款第4条第1項-2号、3号＞	<p>◆地域のスポーツ振興と併せ地域におけるジュニアスポーツのすそ野を広げることを目的として実施。</p> <p>①地区体育協会事業 スポーツ教室や大会、強化練習等を実施 ・対象競技:国体正式競技(41競技)、公開競技・特別競技(5競技)、オリンピック競技(5競技)を中心とする競技 ・実績:58地区 811事業 63,459名参加</p> <p>②競技団体事業 選手層の薄い競技の普及及び選手育成等の事業を実施 ・対象競技:ボート、ホッケー、ボクシング、レスリング、自転車、弓道、ウエイトリフティング、カヌー、アーチェリー、ボウリング、スケート、アイスホッケー、セーリング ・実績:13競技 42事業 2,879名参加</p>

区分	事業名	内容説明
1 競技力向上事業	(6) トップアスリート発掘・育成事業 ＜定款第4条第1項-3号＞	<p>◆高い運動能力を持つ中学生を体力テスト等で識別(選抜)し、競技人口の少ない7競技(ボート、ボクシング、レスリング、ウエイトリフティング、カヌー、アーチェリー、自転車)を体験させ、最も適性のある競技に転向することで、トップを目指せるように育成</p> <p>①育成プログラム(対象:前年度識別された10期中学3年生) i スポーツ教育プログラム、ii トレーニングプログラム、iii 競技別プログラム 期間:4月～12月 修了者18名 場所:日本大学文理学部 他</p> <p>②識別プログラム(都内在住の中学2年生から第11期生の選抜) 第一次選考(体力テスト)／第二次選考(競技体験、面接) 応募者170名 合格者28名</p>
	(7) グローバル指導者育成事業 ＜定款第4条第1項-3号＞	<p>◆トップコーチを日本国内外から招聘し、競技団体が主催する研修会等において実践的な指導方法を提供することで、国際大会等へ出場が見込まれる東京都選手を育成する指導者の能力開発を図る。</p> <p>◇対象競技:オリンピック対象競技のうち3競技 (スケート、クレール射撃、カヌー)</p> <p>◇招聘実績 スケート(フィギュア):マッシモ・スカリ(イタリア) クレール射撃:ミルコ・センチ(イタリア) カヌー:トーマス・アペル(ドイツ)</p> <p>◇育成実績:対象3競技団体所属の指導者93名を育成</p>
	(8) スポーツ・インテグリティ推進事業1 ＜定款第4条第1項-8号＞	<p>◆都内競技団体・指導者・選手等に対し、スポーツに関わる者としての責任を再確認することにより、事故防止に資するための研修を実施し、スポーツ・インテグリティの推進を図る。</p> <p>◇指導者向け研修</p> <p>①区部会場 ・日時:令和元年11月21日(木)17:00～19:30 ・会場:東京ウィメンズプラザホール ・参加者:49名 ・基調講演「スポーツ界に求められるインテグリティとは」 講師 猪股康博氏、桶谷敏之氏(日本スポーツ振興センター)</p> <p>・パネルディスカッション 「スポーツの価値を高める指導者に必要なものとは ～ジュニア選手の指導を見つめなおす～」 コーディネーター 猪股康博氏(日本スポーツ振興センター) パネリスト 松本泰介氏(弁護士、早稲田大学スポーツ科学学術院 准教授) 福嶋正信氏(東京都立小山台高等学校 野球部監督) 加藤ゆか氏(元競泳日本代表選手)</p> <p>②多摩会場:令和元年11月27日(水)17:00～19:30 ・会場:東京都立多摩図書館セミナールーム ・参加者:54名 ・基調講演「スポーツ界に求められるインテグリティとは」 講師 桶谷敏之氏(日本スポーツ振興センター)</p> <p>・パネルディスカッション 「スポーツの価値を高める指導者に必要なものとは ～ジュニア選手の指導を見つめなおす～」 コーディネーター 猪股康博氏(日本スポーツ振興センター) パネリスト 松本泰介氏(弁護士、早稲田大学スポーツ科学学術院 准教授) 福嶋正信氏(東京都立小山台高等学校 野球部監督) 大山加奈氏(元バレーボール日本代表選手)</p>

区分	事業名	内容説明
1 競技力向上事業	(8) スポーツ・インテグリティ推進事業2 ＜定款第4条第1項－8号＞	◇競技団体向け研修 ・日時:令和2年1月24日(金)14:30～17:00 ・会場:日本青年館ホテル8階 カンファレンスルームイエロー ・参加者:152名 ・講演 「スポーツ団体に求められるコンプライアンスについて」 講師 大橋卓生氏(弁護士) ・情報提供 「女子アスリートを取り巻く状況」 講師 工藤保子氏 (大東文化大学スポーツ健康科学部スポーツ科学科 准教授) (一社)スポーツ・コンプライアンス教育振興機構 理事)
2	(1) 第74・75回国民体育大会 東京都予選会 ＜定款第4条第1項－5号＞	◆第74回国民体育大会及び第75回国民体育大会冬季大会(関東ブロック大会含)に派遣する東京都代表選手を選考・決定するために、各競技別に東京都予選会を実施 ①陸上競技等 37競技 参加者 延べ19,615名 平成31年4月～令和元年7月 駒沢オリンピック公園総合運動場 他 ②スケート、アイスホッケー、スキー競技 参加者 延べ1,014名 令和元年6月～令和2年1月 ダイードリンクコアアイスアリーナ、他
国体推進事業	(2) 第74・75回国民体育大会 関東ブロック大会への 東京都選手団の派遣 ＜定款第4条第1項－5号＞	◆第74回国民体育大会及び第75回国民体育大会冬季大会の地区予選会である関東ブロック大会へ東京都選手団を派遣 ①第74回関東ブロック大会(会期前・中心会期) 千葉県千葉市 他 令和元年6月8日(土)～8月26日(月) (中心会期8月23日(金)～25日(日)) 水泳競技(水球・シンクロ)等 31競技 参加者746名 ②第74回関東ブロック大会(冬季競技) 群馬県渋川市 令和元年12月6日(金)～8日(日) アイスホッケー 参加者37名
	(3) 第74・75回国民体育大会 東京都選手団の派遣 ＜定款第4条第1項－第5号＞	◆第74回国民体育大会本大会に東京都選手団を派遣 ①第74回 本大会(茨城県) 中心会期:令和元年9月28日(土)～10月8日(火) 陸上競技等 38競技 (会期前9月7日(土)～16日(月):水泳、ビーチバレー、体操 茨城県水戸市、他 東京都選手団長 山本博 以下 711名 ★《第73回大会総合成績》 男女総合成績2位、女子総合成績2位 ※競技別男女総合 1位 (6競技) (水泳、バレーボール、レスリング、ソフトテニス、柔道、トライアスロン) ◆第75回国民体育大会冬季大会に東京都選手団を派遣 ②第75回 冬季大会 i. スケート・アイスホッケー競技会 (青森県) 令和2年1月29日(水)～2月2日(日) 青森県八戸市他 東京都選手団長 並木 一夫 以下64名 ★スケート:男女総合11位、女子総合6位 アイスホッケー2位 ii. スキー競技会 (北海道) 令和2年2月16日(木)～19日(日) 富山県富山市、南砺市 東京都選手団長 植田 昌利 以下54名 ★スキー:男女総合23位 女子総合18位 ★《第75回冬季大会総合成績》 男女総合成績5位 / 女子総合成績8位

II 生涯スポーツの振興と普及に関する事業

区分	事業名	内容説明
1 都民体育大会の開催	(1) 第72回都民体育大会 ～春季大会～ <定款第4条第1項-1号、2号>	<p>◆区市町村対抗方式で、夏季、冬季、春季の各季に分けて順次実施する。春季で一巡する。 年間総合成績で男子は高松宮殿下記念杯、女子は高松宮妃殿下記念杯を競う。</p> <p>◇平成31年4月28日(日)～令和元年6月22日(土) 駒沢オリンピック公園総合運動場他</p> <p>① 正式競技 陸上競技等 23種目 ② 公開競技 ハンドボール競技等 5種目 ③ 公開演技 ラジオ体操 1種目 参加地区 54地区 参加者 13, 280名</p> <p>★第72回男子総合 1位 (高松宮殿下記念杯)江東区 2位 大田区/3位 足立区 女子総合 1位 (高松宮妃殿下記念杯)江東区 2位 大田区/3位 練馬区</p>
	(2) 第73回都民体育大会 ～夏季大会～ <定款第4条第1項-1号、2号>	<p>① 水泳競技会 令和元年7月28日(日) 東京辰巳国際水泳場 参加地区 25地区 参加者 261名 ★男子 1位 北区 女子 1位 千代田区</p> <p>② ゴルフ競技会 令和元年10月16日(水)・17日(木) 立川国際カントリー倶楽部 参加地区 38地区 311名 ★男子 1位 瑞穂町 女子 1位 世田谷区</p>
	(3) 第73回都民体育大会 ～冬季大会～ <定款第4条第1項-2号、3号>	<p>① 駅伝競走:令和2年2月24日(月・休) 葛飾区荒川河川敷道路、堀切水辺公園 参加地区 23地区 参加者 220名 ★1位 渋谷区</p> <p>② スキー競技会:令和2年3月1日(日)【中止】 長野県菅平高原裏太郎ゲレンデ ファミリーコース ※新型コロナウイルス感染症拡大防止により中止</p>
2	<p>都民体育大会・東京都障害者スポーツ大会合同開会式 <定款第4条第1項-1号2号、9号></p>	<p>◆障害のある人も、ない人も、一緒にスポーツを楽しむことができる社会の実現に取り組むというスポーツ祭東京2013での「東京都ユニバーサルスポーツ宣言」のレガシーとして、第72回都民体育大会及び第20回東京都障害者スポーツ大会合同開会式を開催。互いのスポーツ競技への理解を深め、交歓できる機会を創出。</p> <p>◇日 時:令和元年5月3日(金・祝)武蔵野の森総合スポーツプラザ ◇総合司会:畠山愛理(元新体操団体日本代表) 今泉 清(元ラグビー日本代表) ◇ゲスト 官野一彦(車いすラグビー日本代表) ◇ラジオ体操指導 多胡 肇</p> <p>◇交歓プログラム:ラグビー及び車いすラグビー デモンストレーション 会場全員でラグビーボールパス体験 ◇健常者と障害者が一緒になって行う入場行進には、合わせて約2,700人が参加/来場者:3,654名</p>
3	<p>都民生涯スポーツ大会の開催 <定款第4条第1項-1号2号></p>	<p>◆中高年対象のスポーツ大会で、互いに競い合いながらスポーツを楽しむ生涯にわたるスポーツ活動のより一層の普及・振興を図る。</p> <p>◇令和元年8月11日(日)～9月29日(日) 駒沢オリンピック公園総合運動場他 ◇17種目 50地区 482団体 参加者 5,600名 ◇対象年齢の基準は競技ごとに設定。35歳以上が主流。</p>

区分	事業名	内容説明
4 シニアスポーツの振興	(1) シニア健康スポーツフェスティバルTOKYOの開催 ＜定款第4条第1項-2号、7号＞	◆都内在住59歳以上のシニア世代が対象。スポーツや健康づくり活動をととして社会参加や仲間づくり、世代間交流の促進とスポーツ実施率の更なる向上を目指した都民参加型スポーツ大会。 上位入賞者は、翌年のねんりんピック東京都代表選手の選考対象となる。 ◇令和元年10月5日(土)～12月7日(土) 東京武道館他 ◇10種目:ラージボール卓球、テニス、ソフトテニス、ソフトボール、ゲートボール、ペタンク、マラソン、弓道、剣道、サッカー ◇参加者2, 817名
	(2) 全国健康福祉祭(ねんりんピック)東京都選手団の派遣 ＜定款第4条第1項-2号、7号＞	◆第32回全国健康福祉祭(ねんりんピック)和歌山大会(主催:厚労省・(一財)長寿社会開発センター・和歌山県)に東京都選手団を派遣。 ◇令和元年11月9日(土)～11月12日(火) 紀三井寺公園陸上競技場他 ◇参加対象60歳以上。東京都選手団団長 並木一夫 以下238名参加。 スポーツ交流大会(10種目)、ふれあいスポーツ交流大会(9種目) 文化交流大会(3種目) 派遣選手(230名)・役員(8名) ★成績 優勝:個人戦1人、団体戦1チーム 準優勝:個人戦3人、団体戦1チーム
	(3) シニアスポーツ振興事業 ＜定款第4条第1項-2号、7号＞	◆東京都の高齢者のスポーツ実施率の向上と、健康維持・増進に寄与するため、地区体育協会等が主催者となり、シニア世代を対象としたスポーツ競技会、講演会、講習会等の事業を実施。 ◇対象 主として60歳以上の都民 ◇期間 年間 ◇会場 都内他 ◇参加人数 54地区 328事業 24, 481人

Ⅲ 地域におけるスポーツ振興体制の整備充実等に関する事業

区分	事業名	内容説明
1 地域スポーツ振興体制の充実	(1) 加盟団体代表者会議 ＜定款第4条第1項-2号、8号＞	◆加盟団体に対し、毎年度開始前の事業計画・収支予算案の説明と終了後の事業報告・決算報告を通じた意見交換のほか、諸課題への対応協議、情報提供などを実施 ◇対象 計 111団体(競技団体41団体/種目団体8団体/地域体育団体59団体/学校体育連盟 小・中・高3団体) ①開催日:令和元年6月7日(金)◇場所:渋谷フォーラムエイト ◇議題等 ①平成30年度事業報告並びに財務諸表(案)について ②その他 ◇情報提供 東京都オリンピック・パラリンピック準備局から ②開催日:令和2年3月6日(金)に開催を予定したが、新型コロナウイルス感染症対策のため、開催を見合わせた。また、3月16日、4月27日と延期をしたが、感染症の影響から開催を断念した。 ◇議題等の「令和2年度事業計画・収支予算(案)について等」は、配布資料を4月20日に郵送した。
	(2) 地区体育協会等の振興 ＜定款第4条第1項-1号、2号＞	◆地区体育協会、学校体育連盟、種目団体に対し、規模に応じて区分を設け、組織強化と事業推進のため、振興費を交付 ◇対象 ①地区体育協会 59団体 ②学校体育連盟 3団体 ③ 種目団体 8団体

区分	事業名	内容説明
1 地域スポーツ振興体制の充実	(3) 幹部中央研修会 ＜定款第4条第1項-2号、8号＞	<p>◆加盟団体の当面する課題解決の方策や今後の事業のあり方等について、講演や研究協議、事例発表等の研修を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時:令和2年1月14日(火)15:00～17:35 ・場所:IVY HALL(アイビーホール) ・参加者数:加盟団体の幹部役員 126名 ・講演「ラグビーワールドカップ2019が私たちに伝えてくれたもの」 講師 徳増浩司氏 (元ラグビーワールドカップ2019組織委員会 事務総長特別補佐) ・特別講演「オリンピックとコミュニケーション」 講師 堀尾正明氏(フリーキャスター)
2 顕彰事業	(1) 生涯スポーツ功労者 ＜定款第4条第1項-8号＞	<p>◆スポーツの振興に貢献し、功績のあった者。 ◇実施日 令和元年5月3日(日) ◇場 所 武蔵野の森総合スポーツプラザ ◇表彰人数 70名</p>
	(2) 生涯スポーツ優良団体 ＜定款第4条第1項-8号＞	<p>◆スポーツの普及活動と地域のスポーツ振興に功績顕著な団体 ◇実施日 令和元年5月3日(日) ◇場 所 武蔵野の森総合スポーツプラザ ◇表彰団体数 58団体</p>
	(3) 国体優勝等選手表彰 ＜定款第4条第1項-8号＞	<p>①国体優勝団体(国体で男女総合成績第1位の競技団体) ◇実施日 令和元年11月16日(土) ◇場 所 東京都教職員研修センター ◇表彰団体数 6団体</p> <p>②特別功労者(国体等で世界新記録又は日本新記録で優勝した選手) ◇実施日 令和元年11月16日(土) ◇場 所 東京都教職員研修センター ◇対象者無し</p> <p>③国体優勝功労者(国民体育大会で優勝した選手、監督) ◇実施日 令和元年11月16日(土) ◇場 所 東京都教職員研修センター ◇表彰人数 101名</p> <p>④国体優秀選手(国民体育大会で入賞した選手) ◇実施日 令和元年11月16日(土) ◇場 所 東京都教職員研修センター ◇表彰人数 342名</p>
	(4) 中学校・高等学校全国大会優勝者、優勝チーム ＜定款第4条第1項-8号＞	<p>◆東京都中学校体育連盟及び東京都高等学校体育連盟の所属学校生徒で、全国中学校体育大会及び全国高等学校総合体育大会の優勝者、優勝チームを表彰</p> <p>①優勝チーム 表彰団体 18団体 ②優勝者 表彰者 33名</p>
	(5) 体育優良生徒表彰 ＜定款第4条第1項-8号＞	<p>◆中体連、高体連の生徒で体育、学業ともに優秀な者(2019年度卒業生) ①中学校 1,460名 ②高等学校 764名</p>
	(6) 永年勤続功労者表彰 ＜定款第4条第1項-8号＞	<p>◆本協会役員で、永年にわたりスポーツ振興に尽力し、功績顕著な者 ◇該当者なし</p>
3 公認スポーツ指導者の養成と研修	(1) 公認スポーツ指導者養成講習会 (コーチ1・コーチ2) ＜定款第4条第1項-4号、8号＞	<p>◆地域スポーツ組織での競技の専門的な技術指導、スポーツクラブ等の育成・運営指導、スポーツ大会等の企画・運営を行う指導者養成を目的とした「スポーツ指導者の知識・技能審査事業」</p> <p>① コーチ1(専門科目) ・JSPO委託:ボウリング26名、空手道71名、フェンシング38名、卓球12名、計4競技147名 ・独自開催:バレーボール55名、軟式野球24名、ソフトボール46名、山岳11名、計4競技136名</p> <p>②コーチ2(共通科目) ・JSPO委託 日時:令和元年11月16日(土)・17日(日)・23日(土) 会場:TKPガーデンシティ渋谷 受講者数:37名</p> <p>③ コーチ2(専門科目) ・JSPO委託:テニス17名、卓球11名、スポーツクライミング10名 計3競技38名</p>

区分	事業名	内容説明
3 公認スポーツ指導者の養成と研修	(2)スポーツ指導者研修会 ＜定款第4条第1項-4号、8号＞	<p>◆公認スポーツ指導者の資質向上と活動促進のため、協賛企業の協力を得て、研究成果の講演及び研究協議、情報交換等を実施</p> <p>①第1回:令和元年7月13日(土)12:00～16:45 ・会場:国立オリンピック記念青少年総合センター・参加者数:104名 ・内容:「スポーツの価値を高める指導者とは」</p> <p>②第2回:令和元年9月23日(月祝)12:00～16:45 ・会場:トヨタドライビングスクール東京・参加者数:112名 ・内容:「スポーツ・イン・ライフ時代のスポーツ指導」</p> <p>③第3回:令和元年11月24日(日)12:00～16:45 ・会場:日本青年館ホテル・参加者数:85名 ・内容:「進化するスポーツ指導」</p>
	(3)スポーツ指導者派遣事業(人材バンク) ＜定款第4条第1項-4号、8号＞	<p>◆東京都公立学校の学校部活動の外部指導者の確保及び日本スポーツ協会指導員資格の活動を図るため、人材バンクへの登録・紹介等を東京都教育庁委託事業として実施</p> <p>・登録件数:756名(37種目) ・派遣実績:延べ31件</p>
4	日中・日韓等スポーツ交流事業 ＜定款第4条第1項-2号、7号＞	<p>◆韓国、中国、ロシアにおいて、地域レベルにおけるスポーツ交流を実施し、相互理解を深め友好親善とスポーツ振興を図るために実施</p> <p>[日中] 東京都墨田区・日中卓球交流事業(派遣) 令和元年8月14日～19日(6日間)</p>
5 スポーツ少年団の組織拡充と活動促進	(1)登録の推進と地区本部の振興 ＜定款第4条第1項-2号、6号＞	<p>ア 役員・指導者・団員数に応じ、地区本部37地区に対する振興費の配分 前年度の状況:平成30年10月現在 340団 指導者2,832名 団員数9,540名 役員(地区本部段階)数96名</p> <p>イ ブロック別の活動に対する振興費の配分 城西、城南、城北の3ブロック</p>
	(2)指導者、リーダー等の養成と研修 ＜定款第4条第1項-2号、6号＞	<p>ア スポーツリーダー養成講習会兼スポーツ少年団認定員養成講習会 ・令和元年5月18日(土)、19日(日)／フォーラムエイト 参加者数70名 合格者66名(認定者49名、保留者17名) ・令和元年11月3日(日)、4日(月)／トヨタドライビングスクール東京 参加者数73名 合格者69名(認定者26名、保留者43名) ・令和2年2月2日(日)、9日(日)／YMCAアジア青少年センター 参加者数89名 合格者83名(認定者39名、保留者44名)</p> <p>イ ジュニアリーダースクール等の開催 ・ジュニアリーダースクール 令和元年8月18日(日)～20日(火)／BumB東京スポーツ文化館 参加者数14名 リーダー10名 指導者3名 ・東京都リーダー研修会 新型コロナウイルスの感染拡大に伴い中止</p> <p>ウ 派遣事業の実施及び開催 ・関東リーダー研究大会 令和元年10月19日(土)～20日(日) スポーツ総合センター(埼玉県) 派遣者:なし</p> <p>・シニア・リーダースクール 令和元年8月8日(木)～12日(月) 国立中央青少年交流の家(静岡県) 派遣者:なし</p> <p>・全国リーダー連絡会 令和元年6月15日(土)～16日(日) 国立オリンピック記念青少年総合センター他 派遣者:2名</p>

区分	事業名	本年度内容説明
5 スポーツ少年団の組織拡充と活動促進	<p>(3) 少年団交流活動の推進 < 定款第4条第1項-2号、6号 ></p>	<p>ア 東京都スポーツ少年団競技別交流大会の開催 令和元年5月6日(月)～7月15日(月) 駒沢総合運動場、東京武道館 他 ・競技: 軟式野球、ミニバスケットボール、バドミントン、バレーボール、なぎなた、空手道、サッカー ・参加者: 170団 計3,522名(指導者含む)</p> <p>イ 東京都スポーツ少年団大会の開催 令和元年10月20日(日)～11月17日(日) 駒沢総合運動場、東京武道館 他 ・競技: 軟式野球、ミニバスケットボール、バレーボール、サッカー、卓球、バドミントン、剣道、空手道、少林寺拳法 ・参加者: 121団 計2,525名(指導者含む)</p> <p>ウ 全国大会等への派遣及び開催 ・関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会 令和元年7月26日(金)～28日(日)【総合開会式ほか5競技】 ALSOKぐんま総合スポーツセンターほか(群馬県) 競技: 軟式野球、ミニバスケットボール、バレーボール、バドミントン、空手道 ・関東ブロックスポーツ少年大会 令和元年8月23日(金)～25日(日) 千葉県立鴨川青年の家(千葉県) 派遣者: なし ・全国スポーツ少年大会 令和元年8月1日(木)～4日(日) 佐世保青少年の天地ほか(長崎県) 派遣者: なし ・全国スポーツ少年団競技別交流大会 ①全国スポーツ少年団軟式野球交流大会 令和元年8月2日(金)～5日(月) 佐野運動公園(兵庫県) 派遣チーム: なし ②全国スポーツ少年団バレーボール交流大会 新型コロナウイルスの感染拡大に伴い中止 ③全国スポーツ少年団剣道交流大会 新型コロナウイルスの感染拡大に伴い中止</p>
	<p>(4) 指導者協議会 < 定款第4条第1項-2号、6号 ></p>	<p>① 指導者研究協議会の実施 令和2年1月18日(土) / YMCAアジア青少年センター 参加者: 35名</p> <p>② 全国研究大会等への派遣 ・全国スポーツ少年団指導者協議会 令和元年6月14日(金)～15日(土) 国立オリンピック記念青少年総合センター 派遣者: 指導者協議会委員長</p> <p>・ジュニアスポーツフォーラム 令和元年6月16日(日) 東京ガーデンテラス紀尾井町(東京都) 派遣者: 14名</p> <p>・関東ブロック指導者研究協議会 令和元年11月2日(土)～3日(日) ホテルレイクビュー水戸(茨城県) 派遣者: 4名</p>
	<p>(5) 東京都スポーツ少年団表彰 < 定款第4条第1項-2号、6号 ></p>	<p>◆表彰式の開催 令和元年10月20日(日) 駒沢オリンピック公園総合運動場屋内球技場 永年功労者表彰8名、功労者表彰35名、永年活動優秀団体4団</p>

区分	事業名	内容説明
6 スポーツを通じた被災地支援事業	(1) スポーツ交流事業 ＜定款第4条第1項-9号＞	<p>◆東日本大震災の被災県(岩手県・宮城県・福島県)の子ども達を東京に招待し、交流試合等スポーツ教室など、複数のメニューを通じて、体を動かす機会を提供し、子ども達に夢と希望を与えることを目的に実施</p> <p>① 宮城県気登米市と東京都東大和市の交流 ・日程:令和元年7月26日(金)～28日(日) ・場所:東大和市立第五小学校 他 ・種目:軟式野球 ・人数:103名(宮城県登米市32名、東京都東大和市36名、運営役員35名)</p> <p>② 宮城県石巻市と東京都八王子市の交流 ・日程:令和元年8月2日(金)～4日(日) ・場所:戸吹スポーツ公園サッカー場 他 ・種目:サッカー ・人数:123名(宮城県石巻市29名、東京都八王子市84名、運営役員10名)</p> <p>③ 福島県須賀川市と東京都調布市の交流 ・日程:令和元年8月3日(土)～4日(日) ・場所:調布市総合体育館 他 ・種目:サッカー ・人数:78名(福島県須賀川市15名、東京都調布市43名、運営役員20名)</p> <p>④ 福島県福島市・郡山市と東京都墨田区の交流 ・日程:令和元年8月16日(金)～18日(日) ・場所:錦糸公園野球場 他 ・種目:軟式野球 ・人数:120名(福島県福島市・郡山市37名、東京都墨田区63名、運営役員20名)</p> <p>⑤ 福島県福島市と東京都八王子市の交流 ・日程:令和元年8月16日(金)～18日(日) ・場所:八王子滝ガ原野球場 他 ・種目:軟式野球 ・人数:106人(福島県福島市39名、東京都八王子市47名、運営役員20名)</p> <p>⑥ 福島県いわき市と東京都墨田区の交流 ・日程:令和元年12月21日(土)～22日(日) ・場所:墨田区総合グラウンド 他 ・種目:サッカー ・人数:148人(福島県いわき市35名、東京都港区79名、運営役員34名)</p>
	(2) スポーツ観戦招待事業 ＜定款第4条第1項-9号＞	<p>◆東日本大震災の被災県(岩手県・宮城県・福島県)の親子をスポーツ観戦に招待し、被災地を支援</p> <p>・日程:令和元年11月9日(土)～10日(日) ・大会名:JA全農ITTF卓球ワールドカップ団体戦2019TOKYO ・招待人数:45組90名 (岩手県15組30名、宮城県15組30名、福島県15組30名)</p>
	(3) 東京マラソン2020(10km)高校生招待事業 ＜定款第4条第1項-9号＞	<p>◆東日本大震災の被災県(岩手県・宮城県・福島県)の高校生を東京マラソン2020(10km)に招待し、被災地を支援</p> <p>・日程:令和2年2月29日(土)～3月1日(日) ・招待人数:新型コロナウイルス感染症拡大により中止</p>
7	総合型地域スポーツクラブの育成支援 ＜定款第4条第1項-2号、7号＞	<p>◆生涯スポーツ社会の実現に寄与することを目的に、総合型地域スポーツクラブの育成支援につとめる。</p> <p>・SC東京ネットワークを基盤とした支援事業</p> <p>・第1回 登録・認証制度勉強会 令和元年11月18日(月) 参加者:9名</p> <p>・第2回 登録・認証制度勉強会 令和2年1月20日(月) 参加者 13名</p> <p>・東京都主催「地域スポーツクラブにおける登録・認証制度の整備に係る運用体制等検討PT」年4回出席</p>

IV 自主事業の実施

区分	事業名	内容説明
1	広報活動の充実 ＜定款第4条第1項-9号＞	◆ホームページやツイッターを活用して、随時、情報発信を行った。 本協会の会報を年1回発行した。
2	トップアスリート交流事業 ＜定款第4条第1項-3号＞	◆トップアスリート発掘・育成事業の第10期生達に、海外の同世代で同じく世界を目指すアスリートたちと交流させることで世界を強く意識させトップアスリートになるための意識の醸成を図った。 ◇令和元年8月1日(木)～8月4日(日) アジアカップ(アーチェリー、柔道)台北大会視察 国立台湾体育大学国際交流センターで現地中学生との交流
3	復興支援事業 ＜定款第4条第1項-9号＞	◆青森県の親子に世界トップレベルの選手が出場する大会を観戦する機会を提供し、震災復興を支援 ・日程:令和元年11月9日(土)～10日(日) ・大会名:JA全農ITTF卓球ワールドカップ団体戦2019TOKYO ・招待人数:15組30名
4	スポーツ指導者研修会 ＜定款第4条第1項-4号、8号＞	◆公認スポーツ指導者の資質向上と活動促進のため、協賛企業の協力を得て、研究成果の講演及び研究協議、情報交換等を実施 ・日時:令和2年2月2日(日)12:00～16:45 ・会場:国立オリンピック記念青少年総合センター ・内容:「スポーツの可能性」 ・講師:松尾明氏(トレーニングサポート研究所 所長) 富川理充氏(専修大学商学部 教授) ・参加者数:67名

※ 以上のとおりであるが、2019年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

”